

大東京信用組合 2024年3月期 ディスクロージャー誌〈情報編〉

大信Report 2024

2023年4月1日から2024年3月31日まで

大信の現状を知る編



“信組らしさ”を発揮し、未来への扉を お客さまファーストの



皆さまには平素より大東京信用組合に格別なご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

本年も当組合へのご理解を一層深めていただくため、1年間の活動をご報告する「大信 Report2024」を作成いたしました。

本誌では、当組合の経営方針、地域のお客さまへの取り組み、令和5年度の業績などをご紹介します。

是非ともご高覧賜り、当組合に対するご理解をさらに深めていただければ幸甚に存じます。

令和5年度の国内経済は、長期に亘るコロナ禍を乗り越え、社会経済活動の正常化やインバウンド需要の回復が見られるとともに、大手企業を中心に業績は回復し、株価も34年ぶりに史上最高値を更新する等の前向きな動きが見られました。

しかしながら、年初に発生した能登半島地震の復旧のほか、海外に目を向けると長引くロシアによるウクライナ侵攻をはじめ、中東情勢の緊迫化や中国の景気減速等、今後の景気回復に影響する懸念材料も山積しています。

そのような中、私たち信用組合の主な取引先である中小企業・小規模事業者の方々におかれましては、ゼロゼロ融資の本格的な返済開始や円安、物価高、人手不足等の複合

組合概要

名 称	大東京信用組合 (略称：大信)	出 資 金	13,647百万円	店 舗 数	41店舗
所 在 地	東京都港区東新橋2-6-10	組 合 員 数	94,530名	職 員 数	560名
創 立	1952年9月6日 (昭和27年)	総 資 産	696,081百万円	営 業 地 区	東京都一円(離島を除く)
理 事 長	柳沢 祥二	預 金 残 高	653,362百万円	事 業 内 容	預金・融資・内国為替・ 外国為替(取次)・ 代理業務・国庫金収納・ その他
		貸 出 金 残 高	338,783百万円		
		自己資本の額	35,854百万円		
		自己資本比率	9.90%		

(令和6年3月末現在)

開くべく

業務運営に努めてまいります。

的な要因により、依然として経営環境は厳しく、企業規模や業種などによって景況感は二極化しています。

こうした状況を踏まえ、当組合では「組合員（お客さま）一人ひとりに“真に寄り添った”伴走型支援を展開しよう!」を最重要課題とし、事業の経営維持・再建や経営改善に加えて、事業発展・拡大等に向けた事業者支援に積極的に取り組んでまいりました。

令和5年度の業績につきましては、預金は6,533億円、貸出金は3,387億円と前年度水準を維持する結果となりました。

収益面では、業務純益、経常利益そして当期純利益において事業計画値を上回る結果となり、健全性・安全性を示します自己資本比率は高い水準を堅持し、不良債権比率は引き続き低い水準で推移しております。

これも偏にお取引先の皆さまのご支援・ご協力の賜物と改めて感謝申し上げます。

令和6年度におきましては、賃上げを始めとする所得環境が改善し、昨年から継続される企業の投資意欲も相まって景気は緩やかに回復していくものと思われます。また、金利情勢につきましても、日本銀行は異次元の金融緩和政策が行き詰まる中、平成28年2月に始まったマイナス金利政策を今年3月に解除し、17年ぶりの利上げに踏み切ることにより、

金融政策は大規模緩和から正常化に向かい「金利ある世界」に踏み出しました。

この状況に対処すべく、当組合では令和6年度を起点とする「新・第3次中期経営計画」をスタートさせました。計画では、“信組らしさを発揮し、未来への扉を開こう”を合言葉に、大信ファンの拡充による“収益基盤の再構築”と盤石な“経営基盤の強化”、職員のやる気と活力にあふれた組織にするための“人的基盤の確立”、そして“社会的責任の遂行”と“IT化並びにシステム化”を加えた5つの重点項目を掲げており、これらの実現こそがお客さまや地域の幸せに繋がるものと考えております。

引き続き、お客さまファーストの営業体制を充実させ、金融支援にとどまることなくお客さまに“真に寄り添い”、ご事業の継続と課題解決へ向けた事業者支援にこれまで以上に役職員一同、全力で取り組んでまいりますので、一層のご指導、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

令和6年7月

大東京信用組合

代表理事会長 柳沢 祥二
兼 理事長

目次 CONTENTS

大信の現状を知る編

- P 1 トップメッセージ
- P 1 組合概要
- P 3 大信の経営について
- P 4 新・第3次中期経営計画

- P 5 大信のCSR
- P 6 令和6年3月期 業績概況
- P 9 財務諸表
- P 10 役職員の状況・組織図

- P 11 大信1年のあゆみ・沿革
- P 13 都内にひろがる大信のネットワーク
- P 15 主な手数料一覧



大信の経営について

(経営理念・経営方針・中期経営計画)

経営理念

『大東京信用組合は、地域に密着し地域社会に奉仕する』

私たちは、社是として「信条」を定めております。

信 条

- | | |
|---------------------|------------------|
| 1. 大東京信用組合は社会に奉仕する | 1. 和心協同職務に最善を尽くす |
| 1. 顧客には信頼感を、己には責任感を | 1. 礼儀正しく謙讓に |
| 1. 他より常に一步前進 | |

大信のモットーは、『健全経営』である。

そして…

『最大の地域貢献は、その地域で健全に存在し続けることである』

経営方針

- (1) 金融機関としての社会的責任と公共的使命を念頭に、高い企業倫理の確立とコンプライアンス態勢の充実、お客さま本位の業務運営に努めます。
- (2) 地域密着型金融への取り組みにより、地域経済の活性化と地域の皆さまとの共存共栄の実現に努めます。
- (3) 総合的なリスク管理態勢を強化し、健全性の確保と収益性の向上、自己資本の充実に努めます。
- (4) 厳正で透明度の高い経営情報の開示と情報発信機能の強化に努めます。
- (5) 「大信5つの特性」の実践をととして、経営基盤の拡充・強化と顧客サポートの質的向上に努めます。

大信5つの 特性

1. 大信は、健全経営をモットーとして、お客さまと心のふれあうおつきあいをいたします。
2. 大信は、一度お約束したことは必ず守り、お客さまの信頼におこたえいたします。
3. 大信は、足をつかい、業務の範囲内でお客さまのために骨身をおしまず行動いたします。
4. 大信は、誰よりも地元を知り、お客さまのニーズを知るようにつとめ、皆さまとともに歩みます。
5. 大信は、正確・迅速な仕事を励行し、事情によって遅延を余儀なくされる場合にも、必ずその理由などを中間報告いたします。

新・第3次中期経営計画〈組合内名称：MTHプラン〉 ～「未来(M)」への「扉(T)」を「開く(H)」計画～

Let's Open the Door to the Future together

メインテーマ

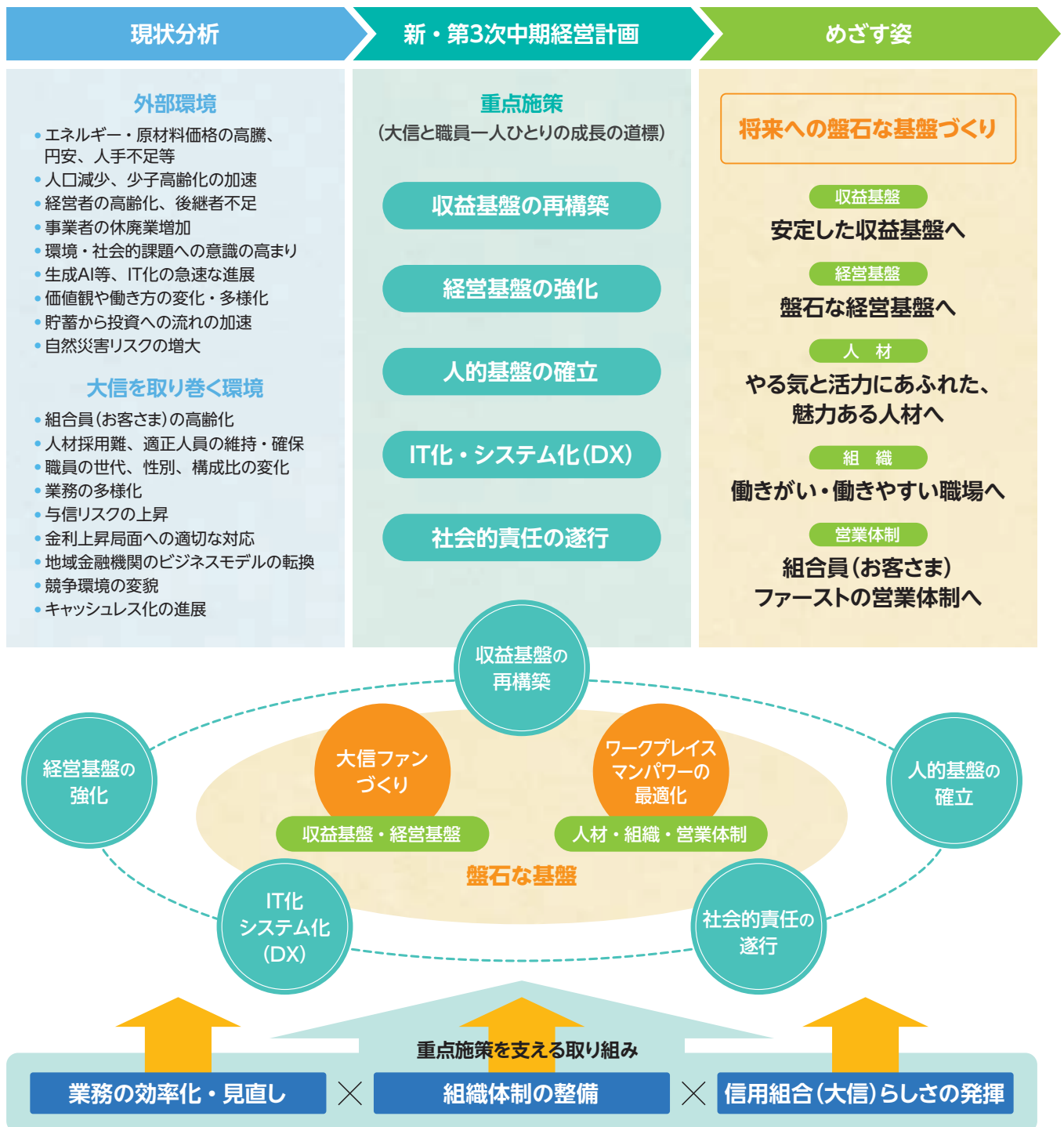
「信組らしさを発揮し、未来への扉を開こう」

～組合員(お客さま)・地域の幸せにつながる金融仲介機能の質を向上させよう!

そのために職員が仕事をしやすい環境を整備しよう!～

取組期間

令和6年4月～令和9年3月



大信のCSR (企業の社会的責任)

地域金融機関の
最大の地域貢献は、
その地域で健全で
あり続けることです。
地域になくてはならない
『大信』を目指して
まいります。

お客さま
(組合員の皆さま)



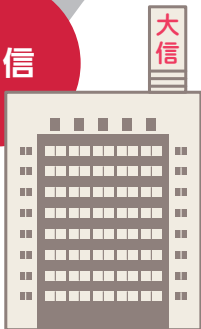
- お客さま本位の業務運営
- 安全性・利便性の追求
- 金融仲介・コンサルティング機能の強化
- お客さま満足度の向上

組合章について



「信」の字を図案化したもので、3片の太い線がこれを囲んでいます。
「信」の字は金融機関の生命である「信用」「信頼」「信義」を表わし、同時に信用組合の頭文字でもあります。3片の形は、古代貨幣(金棒)の組合せであって、組合・組合員(お客さま)・職員の3つを表現して、これらが三位一体となって相協力し、「信」を囲んで護りながら、益々業務の発展を期することを象徴的に表現しています。

大信



- 経営力・組織力の強化
- 内部管理態勢の強化
- 人材の育成・活用

組合員
(お客さま)



お客さまの
“気付き”をサポート
いたします。

職員



- 働きやすい職場環境の確立
- 役職員間の円滑なコミュニケーション・対話・良好な人間関係
- 職員のモチベーションの高揚

地域

地域への円滑な資金供給
地域とのネットワーク
地域との結びつきの強化
地域における存在感
地域貢献活動

今こそ、
協同組織金融機関である
信用組合の良さが再認識され
必要とされる時代です。

「変わっていくもの、変わらないもの」

～未来に向かって、受け継がれるバトンリレー～



信用組合の理念・責務は不易であり、相互扶助の精神を持って、
大信はこれからも、地域社会の発展に貢献いたします。

① 預金・貸出金の状況

■ 預金残高・貸出金残高の推移

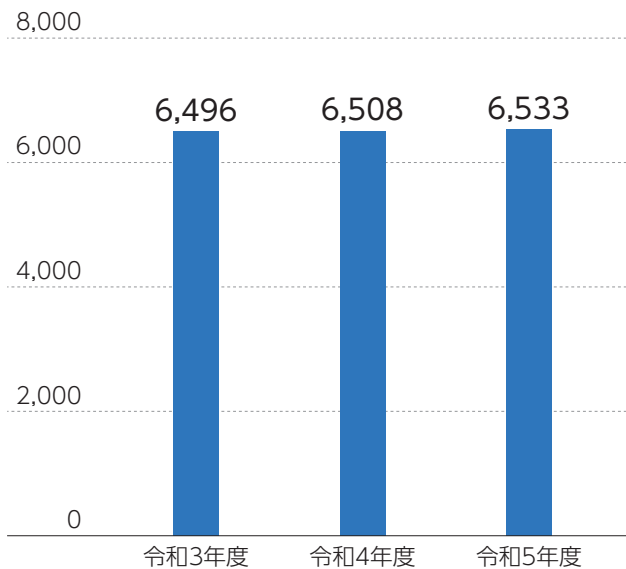
預金残高 **6,533** 億円 貸出金残高 **3,387** 億円

信用のバロメーターとも言うべき預金残高は、多くのお取引先の皆さまからご信頼をいただき、前年同期を上回る6,533億円となりました。

また、貸出金残高は、お取引先の皆さまへの円滑・迅速な資金供給に取り組みました結果、前年同期と同水準の3,387億円となりました。今後もお取引先からのニーズに対して安定的な資金供給に努めてまいります。

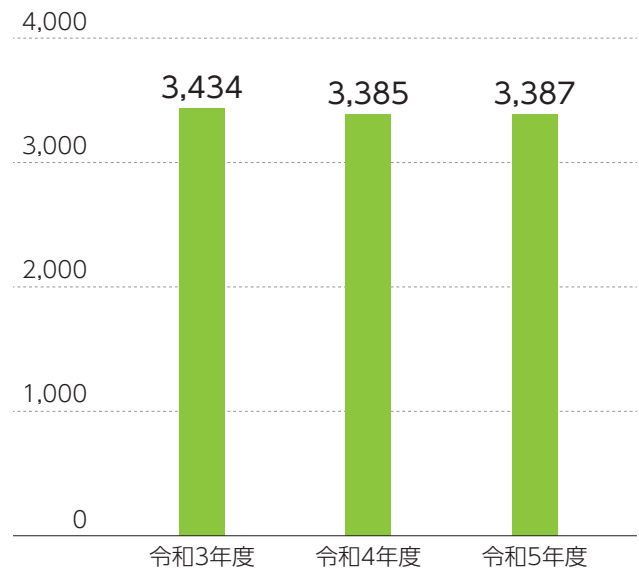
預金残高

(単位:億円)



貸出金残高

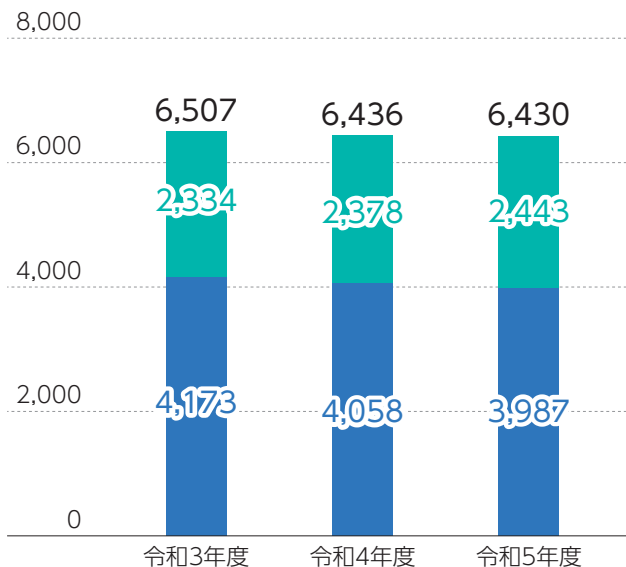
(単位:億円)



預金種目別平均残高

(単位:億円)

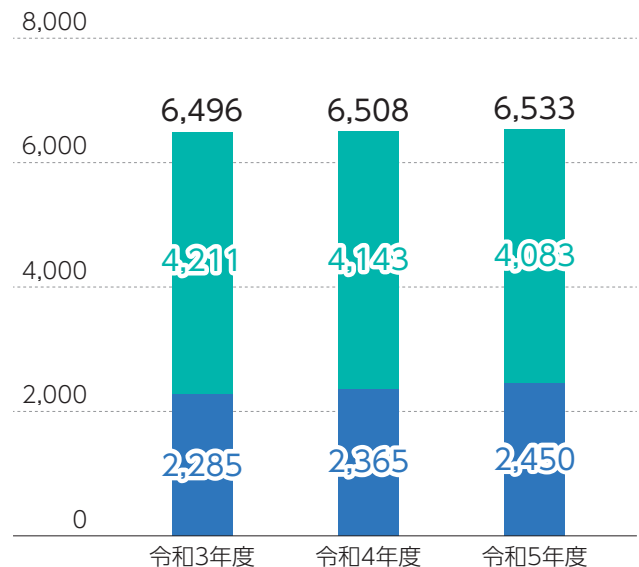
■ 流動性預金 ■ 定期性預金



預金者別預金残高

(単位:億円)

■ 個人 ■ 法人



② 収益の状況

■ 業務純益・コア業務純益・経常利益・当期純利益の推移

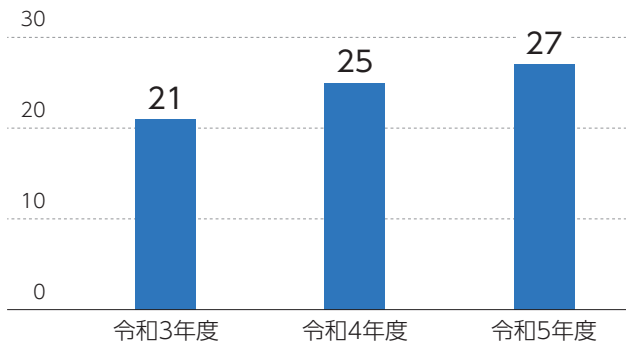
業務純益 27 億円 コア業務純益 27 億円 経常利益 27 億円 当期純利益 15 億円

厳しい経済環境の中、本業である預貸金業務に注力した結果、業務純益、コア業務純益、経常利益は前年同期をそれぞれ上回る27億円、当期純利益も15億円を確保することができました。

今後とも環境の変化に対し柔軟に対応できる安定的な収益構造の構築に向け努めてまいります。

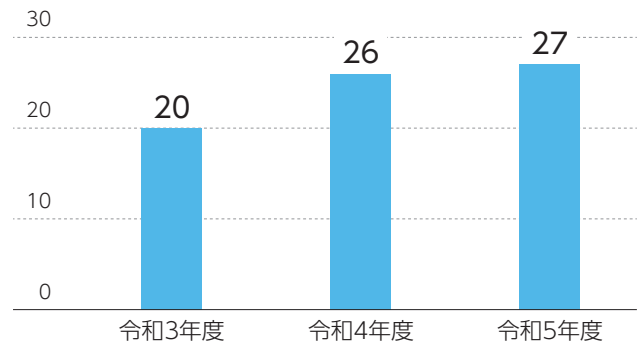
業務純益

(単位:億円)



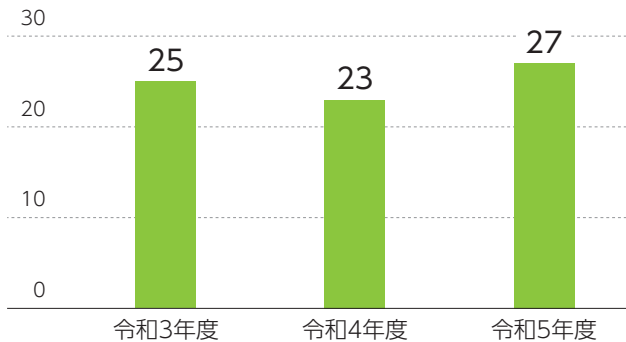
コア業務純益

(単位:億円)



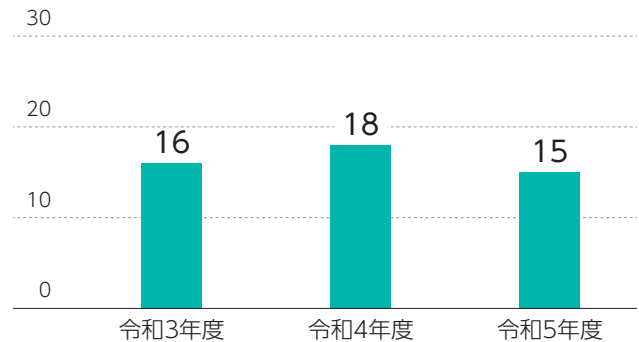
経常利益

(単位:億円)



当期純利益

(単位:億円)



用語解説

● 業務純益

金融機関の基本的業務に係る利益です。

● コア業務純益

「業務純益」から金融環境次第で大きく変動する「一般貸倒引当金繰入額」及び「国債等債券売却損益」を控除したものであり、より実質的な金融機関本来の業務による利益を表しております。

● 経常利益

通常の営業活動に係る利益です。経常的な収益力を見る上で重要な利益です。

● 当期純利益

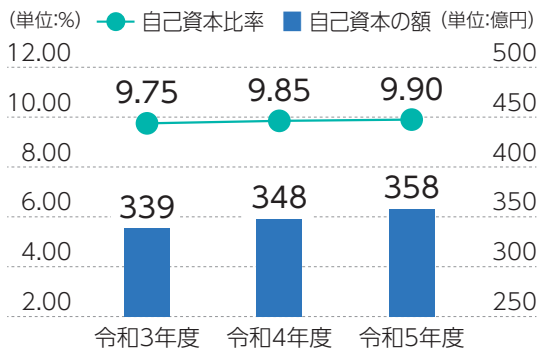
経常利益に特別利益と特別損失を加減し、法人税などを控除した利益で、最終的な利益を表します。



③ 自己資本比率の状況

■自己資本比率と自己資本の額の推移

自己資本比率 **9.90%** 自己資本の額 **358億円**



自己資本比率とは、リスク・アセット(保有する資産にその安全度に応じた掛目を乗じた金額)などに対して、出資金などの自己資本がどれくらいあるかを示す指標で、金融機関の健全性を表す代表的な指標です。

当組合の自己資本比率は、前年同期に対して0.05ポイント上昇し9.90%となり、国内基準を大きく上回っております。

自己資本比率の算出

自己資本比率は、金融機関の健全性を示す重要な経営指標です。信用組合には国内基準が適用され、4%以上であることが求められています。

●自己資本比率の求め方

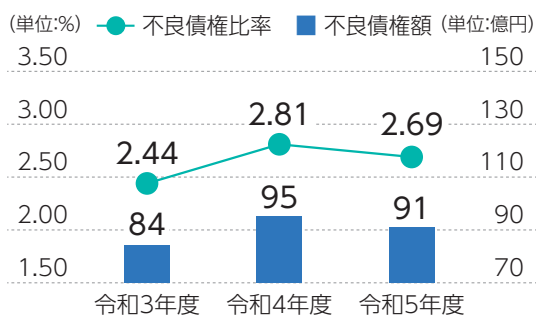
$$\frac{\text{自己資本の額 (358億円)}}{\text{リスク・アセット等の額の合計額 (3,620億円)}} \times 100 = 9.90\%$$



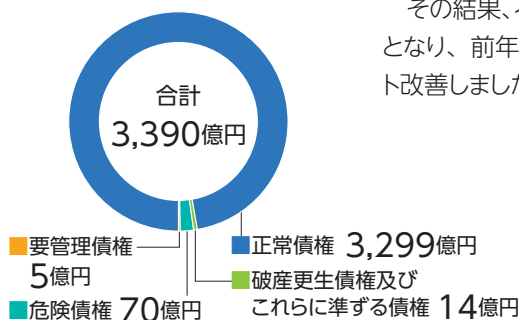
④ 不良債権の状況

■不良債権比率と不良債権額の推移

不良債権比率 **2.69%** 不良債権額 **91億円**



正常債権 **3,299億円**



お取引先に対する円滑な資金供給と経営改善・再生支援、オフバランス化等に取り組み、不良債権額は前年同期に対し約4億円減少し91億円となりました。

その結果、不良債権比率は2.69%となり、前年同期に対し0.12ポイント改善しました。

●破産更生債権及びこれらに準ずる債権

破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。自己査定区分における破綻先・実質破綻先が該当します。

●危険債権

債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権です。自己査定区分における破綻懸念先が該当します。

●要管理債権

「三月以上延滞債権」及び「貸出条件緩和債権」に該当する債権です。自己査定における要注意先の一部が該当します。

●正常債権

債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がない債権で、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」、「要管理債権」以外の債権です。自己査定区分における要注意先の一部と正常先が該当します。

◆ 財務諸表

貸借対照表

(単位：百万円)

科目	令和4年度末 金額	令和5年度末 金額	科目	令和4年度末 金額	令和5年度末 金額
(資産の部)			(負債の部)		
現金	7,244	8,561	預金積金	650,828	653,362
預け金	183,927	179,668	その他負債	2,652	2,506
有価証券	142,258	151,853	賞与引当金	219	229
貸出金	338,589	338,783	退職給付引当金	243	227
その他資産	7,338	6,280	役員退職慰労引当金	275	310
有形固定資産	10,593	10,222	偶発損失引当金	176	153
無形固定資産	1,659	1,648	繰延税金負債	—	207
繰延税金資産	423	—	再評価に係る繰延税金負債	128	128
債務保証見返	76	62	債務保証	76	62
貸倒引当金	△ 1,023	△ 1,000	負債の部合計	654,599	657,189
(うち一般貸倒引当金)	(△ 287)	(△ 254)	(純資産の部)		
(うち個別貸倒引当金)	(△ 736)	(△ 746)	出資金	13,935	13,647
			普通出資金	12,385	12,097
			その他の出資金	1,550	1,550
			資本剰余金	1,050	1,050
			利益剰余金	21,135	22,336
			組合員勘定合計	36,121	37,033
			評価・換算差額等合計	366	1,857
			純資産の部合計	36,488	38,891
資産の部合計	691,087	696,081	負債及び純資産の部合計	691,087	696,081

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書

(単位：百万円)

科目	令和4年度 金額	令和5年度 金額
経常収益	10,222	10,381
資金運用収益	9,297	9,405
貸出金利息	7,040	7,004
預け金利息	232	231
有価証券利息配当金	1,891	1,956
その他の受入利息	132	214
役員取引等収益	399	436
その他業務収益	38	38
国債等債券売却益	17	0
その他の業務収益	21	38
その他経常収益	486	500
経常費用	7,894	7,666
資金調達費用	245	243
預金積金利息	243	241
その他の支払利息	1	1
役員取引等費用	266	242
その他業務費用	139	5
経費	6,608	6,701
その他経常費用	634	474
経常利益	2,327	2,715
特別利益	255	—
特別損失	1	379
税引前当期純利益	2,582	2,335
法人税、住民税及び事業税	718	701
法人税等調整額	23	54
法人税等合計	741	756
当期純利益	1,840	1,578
繰越金(当期首残高)	661	658
土地再評価差額金取崩額	△ 16	—
当期末処分剰余金	2,486	2,237

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

用語解説

● 預け金

お客さまの預金等の支払準備金、または余剰資金の運用として他の金融機関へ預けている預金です。

● 繰延税金資産・負債

税効果会計の適用によって計上される勘定です。支払った税金のうち将来回収が見込まれる場合は繰延税金資産、将来税金の支払いが見込まれる場合には繰延税金負債を計上し、貸借対照表上には差引で記載します。

● 貸倒引当金

ご融資した貸出金のうち、将来における貸倒れに備えて、あらかじめその可能性に応じた損失を積み立て（引当）計上します。実際に貸倒れた場合には、この引当金から充当します。

● その他の出資金

優先出資金の買入消却に伴い、「優先出資金」から振替えたものです。

● 純資産

総資産から総負債を引いた部分です。お客さまから出資していただいた出資金や利益を蓄えた利益剰余金等からなる「組合員勘定合計」と「評価・換算差額等合計」からなります。

● 資金運用収益

お客さまからお預かりした資金（預金）を、本業である貸出金、有価証券等で運用して受け取った利息、配当金です。

● 資金調達費用

預金利息等、事業に必要な資金を調達するのに掛かった費用です。

● 法人税等調整額

税効果会計の適用により、計上される法人税、住民税及び事業税の調整額です。

◆ 役職員の状況・組織図

役員紹介

(令和6年6月20日現在)

代表理事会会長兼理事長 柳沢 祥二
 代表理事専務理事 鈴木 明美
 代表理事専務理事 松川 茂雄
 常務理事 金田 真門
 常務理事 森 文雄
 常勤理事 後藤 輝雄
 常勤理事 大川 浩二
 常勤理事 大久保 光
 常勤監事 荻原 徳彦
 理事(非常勤) 森下 繁己
 理事(非常勤) 鷗橋 誠一(※)
 理事(非常勤) 河和 哲雄(※)
 理事(非常勤) 野竹 弘幸
 員外監事 山口 省藏(※)
 員外監事 服部 一利(※)



代表理事会会長兼理事長
柳沢 祥二



代表理事専務理事
鈴木 明美



代表理事専務理事
松川 茂雄



常務理事
金田 真門



常務理事
森 文雄



常勤理事
後藤 輝雄



常勤理事
大川 浩二



常勤理事
大久保 光



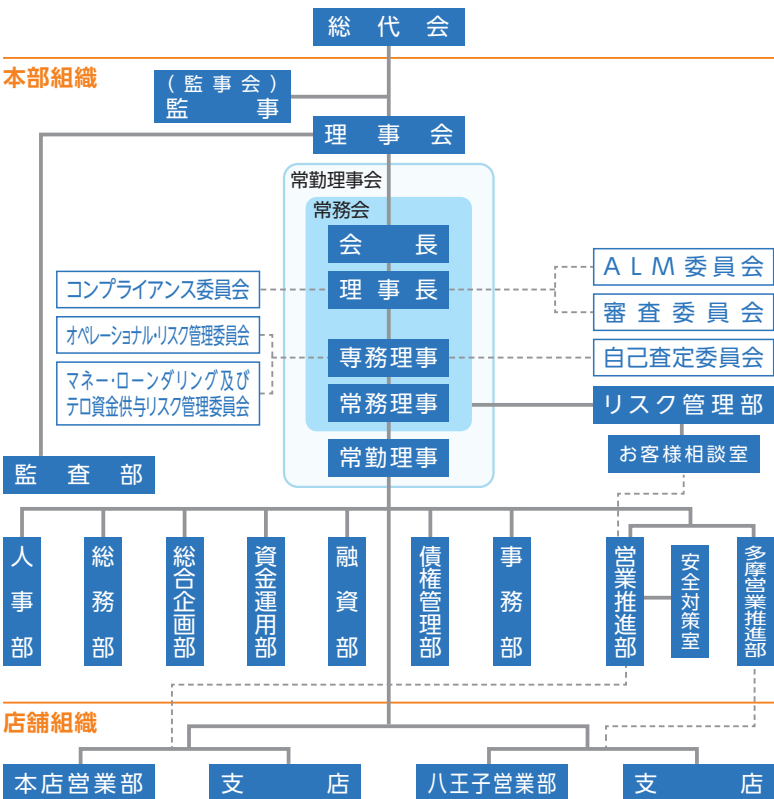
常勤監事
荻原 徳彦

職員出身者以外理事・員外監事

大信は、職員出身者以外の理事・監事(※印)に経営参画をいただくことで多様な意見を反映する等「理事会の機能発揮」を図り、ガバナンスの向上と組合運営の適切化に努めております。

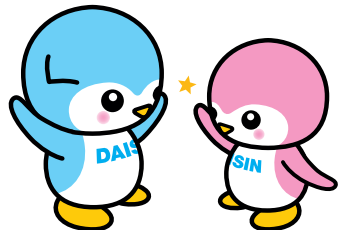
組織図

(令和6年6月21日現在)



職員数

年度	令和3年度末	令和4年度末	令和5年度末
男性	345名	334名	315名
女性	248名	246名	245名
合計	593名	580名	560名



大信1年の あゆみ



令和5年度しん研青年部会・大信ひまわりの会
合同講演会・交流会

- 1日 第5期「しんくみ経済塾」開講
- 31日 創立70周年記念誌発行²



創立70周年
記念誌発行

- 20日 令和5年度しん研青年部会・大信ひまわりの会合同講演会・交流会⁴

- 12日 第84回都内中小企業・小規模事業者景況調査結果発表

4月

令和5年

5月

6月

7月

8月

9月

- 3日 令和5年度入組式¹
- 20日 大信・全信組連 新入職員「合同研修会」開催

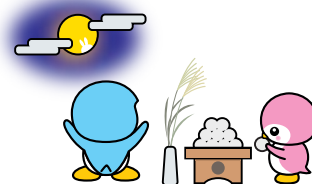
- 1日 都信協主催合同企業説明会に参加
- 16日 しん研 第39回講演会 開催
- 21日 第71回通常総代会 開催
- 21日 創立70周年記念式典・祝賀会を挙行³



令和5年度入組式



創立70周年記念式典・祝賀会を挙行



沿革(ダイジェスト)

1952年9月

東京蓄産信用協同組合の業務開始
(9月6日を創立記念日と定める)



1953年6月

東京蓄産信用協同組合を東京蓄産信用組合に改称

1955年8月

日東信用組合を吸収合併、これを機に地域信用組合に転換

1959年10月

組合名を大東京信用組合に改称

1962年9月

創立10周年を記念し、
「財団法人あすなろ会」を創設



1973年12月

預金量1,000億円を突破

1981年6月

預金量2,000億円を突破



「笑顔と夢」
応援定期預金
(寄付型)「未来Ⅱ」

6



7



「組合まつりinTOKYO～技と食の祭典!～」へ出展

9



特別金利定期預金
「プレミアム」

- 1日 「笑顔と夢」応援定期預金(寄付型)「未来Ⅱ」の取り扱い開始⁶
- 1日 リトアニア共和国信用組合協会視察団来訪
- 8日、9日 「組合まつりinTOKYO～技と食の祭典!～」へ出展⁷
- 25日 第4回しん研青年部会・大信ひまわりの会合同ゴルフコンペ開催

- 19日 特別金利定期預金「プレミアム」の取り扱い開始⁹
- 21日 だいしん経営研究会第22回総会開催¹⁰

10月

11月

12月

1月

令和6年

2月

3月

- 4日 令和5年度新現役交流会開催⁵
- 20日 第59回全国信用組合大会にて「しんくみブランド表彰」優秀賞受賞

- 4日 柳沢会長 千葉商科大学商経学部で講義⁸
- 7日 第85回都内中小企業・小規模事業者景況調査結果発表
- 15日 柳沢会長 日本大学商学部で講義
- 19日 柳沢会長 千葉商科大学商経学部で講義



令和5年度新現役交流会開催



柳沢会長 千葉商科大学商経学部で講義



だいしん経営研究会第22回総会開催



1998年11月

品川信用組合の事業譲受けを完了(6店舗譲受け)

2001年5月

振興信用組合の事業譲受けを完了(6店舗譲受け)

2002年5月

三栄信用組合の事業譲受けを完了(7店舗譲受け)

2002年7月

第三信用組合の事業の一部譲受けを完了(1店舗譲受け)

2003年3月

多摩地区の企業経営者組織「だいしん経営研究会(しん研)」発足

2007年12月

東京建設信用組合と合併

2009年6月

多摩地区の若手企業経営者組織「だいしん経営研究会青年部会(しん研青年部会)」第1回総会開催

2011年6月

大信のイメージキャラクター誕生

2013年10月

城南地区の若手企業経営者組織「大信ひまわりの会城南ブロック」発足(2015年3月までに城西・城東・城北・中央各ブロックが発足)

2014年10月

日本政策金融公庫と業務提携

2015年7月

大信イメージキャラクターの名前が「大くん」、「心ちゃん」に決定

2015年12月

北部信用組合と合併

2022年9月

創立70周年を迎える

都内にひろがる 大信のネットワーク

本部 〒105-8610 東京都港区東新橋2-6-10 TEL 03(3436)0111 (代)

有人店舗・出張所 (令和6年3月末日現在)

店舗名	ATM								住所	電話番号 (代表番号)
	平日 ○印 8:00~21:00 △印 8:00~20:00	土曜 8:45~17:00	日曜 8:45~17:00	祝日 8:45~17:00	年末 (12/31) 8:45~17:00	年始 (1/1~3) 8:45~17:00	現金振込 (平日のみ) 8:45~15:00	台数		
本店営業部	○	○	○	○	○	○	○	2	〒105-8610 港区東新橋2-6-10	03(3436)0121
品川駅東口支店	○	○	×	×	○	×	○	2	〒108-0075 港区港南2-3-1	03(3474)8326
十条支店	○	○	○	○	○	○	○	2	〒114-0034 北区上十条2-31-1	03(3907)5111
目黒支店	○	○	×	×	○	×	○	2	〒153-0064 目黒区下目黒6-18-25	03(3711)5656
高円寺支店	○	○	○	○	○	○	○	2	〒166-0003 杉並区高円寺南4-45-4	03(3318)1111
亀戸支店	○	○	×	×	○	×	○	2	〒136-0071 江東区亀戸1-27-9	03(3685)3351
蒲田支店	○	○	×	×	○	×	○	2	〒144-0052 大田区蒲田4-22-17	03(3732)3221
日暮里支店	○	○	×	×	○	×	○	2	〒116-0014 荒川区東日暮里5-11-5	03(3802)8181
新宿支店	△	○	×	×	○	×	○	2	〒160-0022 新宿区新宿5-1-1	03(3356)2151
三軒茶屋支店	○	○	×	×	○	×	○	2	〒154-0024 世田谷区三軒茶屋2-14-10	03(3424)3181
新小岩支店	○	○	×	×	○	×	○	2	〒124-0023 葛飾区東新小岩5-2-6	03(3691)9536
大塚支店	○	○	○	○	○	○	○	1	〒170-0004 豊島区北大塚1-34-12	03(3918)6411
銀座支店	○	○	×	×	○	×	○	2	〒104-0061 中央区銀座2-12-9	03(3542)8051
吉祥寺支店	○	○	×	×	○	×	○	2	〒180-0004 武蔵野市吉祥寺本町4-10-10	0422(22)9221
恵比寿支店	○	○	○	○	○	○	○	2	〒150-0021 渋谷区恵比寿西2-7-8	03(3463)0561
常盤台支店	○	○	×	×	○	×	○	2	〒174-0063 板橋区前野町2-4-2	03(3969)2535
戸越支店	○	○	○	○	○	○	○	2	〒142-0041 品川区戸越2-6-1	03(3786)5121
府中支店	○	○	×	×	○	×	○	2	〒183-0023 府中市宮町1-33-11	042(363)7511
押上支店	○	○	×	×	○	×	○	2	〒130-0002 墨田区業平4-1-2	03(3625)5001
田町駅前支店	△	○	○	○	○	○	○	2	〒108-0014 港区芝5-16-2	03(3453)3201
荏原町駅前支店	○	○	○	○	○	○	○	2	〒142-0053 品川区中延5-1-1	03(3786)8161
福生支店	○	○	×	×	○	×	○	2	〒197-0011 福生市福生1004	042(553)0611
品川支店	○	○	○	○	○	○	○	2	〒140-0004 品川区南品川2-17-6	03(3474)1333
西蒲田支店	○	○	×	×	○	×	○	2	〒146-0094 大田区東矢口3-20-5	03(3738)1106
大井支店	○	○	×	×	○	×	○	2	〒140-0011 品川区東大井6-9-6	03(5493)1911
八王子営業部	○	○	○	○	○	○	○	2	〒192-0081 八王子市横山町24-1	042(642)0201
中野山王出張所	○	○	○	×	○	×	○	2	〒192-0042 八王子市中野山王3-5-9	042(626)4111
日野支店	○	○	×	×	○	×	○	1	〒191-0011 日野市日野本町2-18-11	042(582)2121
西八支店	○	○	×	×	○	×	○	1	〒193-0835 八王子市千人町2-3-18	042(661)6221
石川支店	○	○	×	×	○	×	○	1	〒192-0032 八王子市石川町522-4	042(646)3011
青山支店	○	○	×	×	○	×	○	1	〒107-0061 港区北青山2-12-32	03(3401)0145
保谷支店	○	○	○	○	○	○	○	2	〒178-0064 練馬区南大泉4-55-5	03(3924)3311
立川支店	○	○	×	×	○	×	○	1	〒190-0011 立川市高松町2-11-24	042(524)6681
堀ノ内支店	○	○	×	×	○	×	○	2	〒166-0013 杉並区堀ノ内3-3-15	03(3311)1141
三鷹支店	○	○	○	○	○	○	○	1	〒181-0013 三鷹市下連雀3-35-1	0422(48)2311
東大和支店	○	○	×	×	○	×	○	2	〒207-0014 東大和市南街3-55-8	042(567)2011
荻窪支店	○	○	×	×	○	×	○	1	〒167-0043 杉並区上荻1-19-9	03(3391)1931
富士見台支店	○	○	○	○	○	○	○	1	〒177-0034 練馬区富士見台2-18-5	03(3999)7163
浅草支店	○	○	×	×	○	×	○	1	〒111-0034 台東区雷門2-17-14	03(3842)2011
花畑支店	○	○	×	×	○	×	○	1	〒121-0061 足立区花畑4-37-16	03(3859)2111
足立支店	○	○	×	×	○	×	○	1	〒123-0845 足立区西新井本町4-8-16	03(3898)2111



令和5年10月2日より窓口営業時間を9時～15時とさせていただきました。

店 舗 名	ATM								住所	
	平日 ◎印 8:00~21:00 ◇印 8:00~18:00	土曜 8:45~17:00	日曜 8:45~17:00	祝日 8:45~17:00	年末 (12/31) 8:45~17:00	年始 (1/1~3) 8:45~17:00	現金振込 (平日のみ) 8:45~15:00	台数		
京浜蒲田出張所	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	1	〒144-0052	大田区蒲田4-5-7
十条銀座出張所	◎	◎	×	×	◎	×	×	1	〒114-0031	北区十条仲原1-5-9

区 分	ATM(現金自動預払機)
店 舗 内	70台
店 舗 外	2台
計	72台



主な手数料一覧

令和5年12月6日現在

※下記手数料はすべて消費税込の金額です

振込手数料（窓口）

宛 先		金額区分	手数料
当組合本支店 自店内宛		5万円未満	220円
		5万円以上	440円
他 行 宛	電信扱い	5万円未満	600円
		5万円以上	820円
	文書扱い	5万円未満	附帯物件（通知文書） が付された振込のみ 取扱います 600円
		5万円以上	

◎給与振込手数料は1件（他行宛）110円 当組合宛は無料

送金・代金取立手数料

種 類	当組合本支店 自店内宛	他行宛
送金手数料	1件につき 440円	電信扱い1件につき 880円 普通扱い1件につき 660円 (送金小切手)
振込・送金 の組戻料	1件につき 220円	1件につき 660円
代金取立手数料 (個別取立)	無料	1通につき 1,100円 但し、1,000円を超える実費を要する 場合は、その実費
取立手形組戻料	無料	1通につき 1,100円
依頼返却手数料	無料	1通につき 1,100円
不渡手形返却料	無料	1通につき 1,100円

小切手・手形帳発行等手数料

内 容	料 金	
㊤口座開設		3,300円
㊤手形用紙の発行（1枚）		550円
自己宛小切手の発行（1枚）		550円
手形帳発行（1冊）		1,100円
小切手帳発行（1冊）		660円
残高証明書の発行（1通） 未払利息証明書の発行（1通）		550円
取引履歴等証明書の発行（1件）	5年未満	550円
	5年以上10年以下	1,100円
	10年超	2,200円
預金証書・通帳の再発行 （1枚あるいは1冊）		1,100円
キャッシュカードの再発行（1枚）		1,100円
貸金庫使用料	8,360円～33,000円	
国債の口座管理手数料	無料	
会場使用料・株式等払込手数料	規定料金に消費税(10%)を加えた料金	

振込手数料（ATM）

種類	利用時間帯	金額区分	利用カード種類				現 金	
			当組合カード		提携金融機関 カード		当組合 支店宛・ 自店内宛	他行宛
			当組合 支店宛・ 自店内宛	他行宛	当組合 支店宛・ 自店内宛	他行宛		
平日	8:00～8:45	5万円未満	110円	380円	330円	600円	利用できません	
		5万円以上	330円	600円	550円	820円		
	8:45～18:00 (注)提携金融機関	5万円未満	110円	380円	220円	490円	110円	380円
		5万円以上	330円	600円	440円	710円	330円	600円
	18:00～21:00	5万円未満	110円	380円	330円	600円		
		5万円以上	330円	600円	550円	820円		
土曜日	8:45～14:00 (注)提携金融機関	5万円未満	110円	380円	220円	490円	利用できません	
		5万円以上	330円	600円	440円	710円		
	14:00～17:00	5万円未満	110円	380円	330円	600円		
		5万円以上	330円	600円	550円	820円		
日曜日 祝日	8:45～17:00 (注)提携金融機関	5万円未満	220円	490円	330円	600円		
		5万円以上	440円	710円	550円	820円		
年末日	8:45～17:00 (注)提携金融機関	5万円未満	110円	380円	330円	600円		
		5万円以上	330円	600円	550円	820円		

(注)提携金融機関……取り扱いには9:00からとなります。

◎大信・提携金融機関とも、店舗により利用日・利用時間帯が異なります。

◎現金振込（平日）は8:45～15:00までとなります。

◎振込金額は当組合カードでは50万円までですが、限度額変更により200万円までお振込みいただけます。

（他金融機関カードは発行金融機関の限度額まで）

ATM利用手数料（お引出／ご入金1回につき）

種類	利用時間帯	当組合 カード 通帳	しんくみ お得ネット (提携信用 組合) カード	提携 金融機関 カード	郵貯 カード	キャッシング (クレジット カード)
平日	8:00～8:45	無料	110円	220円	220円	無料
	8:45～18:00		無料※1	110円	110円	
	18:00～21:00		220円	220円	220円	110円
土曜日	8:45～9:00	無料	お取り扱いできません			
	9:00～14:00		無料※1	110円	110円	無料
	14:00～17:00		220円	220円	220円	110円
日祝日・ 年末日	8:45～9:00	110円※2	お取り扱いできません			
	9:00～17:00	110円※2	220円	220円	220円	110円

※1 ご入金の場合は110円となります。

※2 年末日は無料となります。

◎提携信用組合・記帳可能な信用組合については、窓口にお尋ねください。

◎1日あたりのお引出は50万円までですが、お引出の限度額変更により200万円までお引出が出来ます。

（他金融機関カードは発行金融機関の限度額まで）

◎ご入金は1回毎に99万円（入金枚数99枚）までご利用できます。

◎大信・提携金融機関とも、店舗により利用日・利用時間帯が異なります。

◎クレジットカードのお借入またはご返済金額が1万円以下の場合は、110円となる場合があります。

インターネット・モバイルバンキング年間利用手数料

年間利用手数料	1,320円	代表利用口座より、毎年、お申込月の第一営業日に口座振替により引落させていただきます。 なお、申込後1年間は無料とさせていただきます、2年目より向こう1年間分を引落させていただきます。
---------	--------	--

ビジネスバンキング月額基本料

照会・振込振替サービス	1,100円	代表口座より毎月10日(休日の場合は翌営業日)に口座振替により引落させていただきます。
照会・振込振替サービス + データ伝送サービス	2,750円	

振込手数料 (インターネット・モバイルバンキング)

宛先	振込・振替・総合振込 5万円未満	振込・振替・総合振込 5万円以上	給与(賞与)振込
自店内宛	無料	無料	無料
当組合本支店	110円	220円	無料
他金融機関	330円	440円	55円

※総合振込および給与(賞与)振込は、ビジネスバンキングでデータ伝送サービスをご契約いただいているお客さまのみが対象となります。

融資関係手数料

内 容	料 金
1. 不動産担保事務取扱	
(1) 新規設定 (1件)	55,000円
(2) 極度増額・追加担保・担保差替 (1件)	11,000円
(3) 不動産担保抹消手数料 ((根) 抵当権1件につき)	5,500円
※抹消同行の場合 都内11,000円 左記以外22,000円 (上記手数料含む)	
2. 各種ローン事務取扱	
(1) 証書貸付 (小口消費者ローンを除く、返済期間5年超の契約)	
① 繰上返済	繰上返済手数料
ア. ご融資後3年以内	22,000円
イ. // 3年超5年以内	11,000円
ウ. // 5年超	5,500円
② 内入れ返済及びそれに伴う返済方法の変更	5,500円
③ 固定・変動金利選択型融資の固定金利選択手数料	5,500円
(2) 新規融資事務用紙代一式	1,100円
(3) 返済予定表再発行手数料	550円
(4) ローンカード再発行手数料	1,100円
(5) 支払利息証明書発行手数料	220円

手数料金額に変更があった場合は変更後の手数料金額を適用させていただきます。
但し、金銭消費貸借契約書(特約付)でのご契約で手数料内容の記載がある場合は、記載内容の手数料金額とします。

円貨両替手数料・新券両替手数料 (窓口)

ご希望の金種の合計枚数	料 金
1枚～200枚	(注) 330円
201枚～400枚	550円
401枚～1,000枚	880円
1,001枚以上	※以降200枚まで毎に330円加算します

(注) 当組合に口座のある方は、一人1日1回50枚迄に限り無料。但し同日中の2回目(以降)の取引については取引枚数に応じた手数料となります。(新券も同様)

※取扱枚数については、お客さまのお持ちいただいた紙幣・硬貨の枚数と両替された紙幣・硬貨の枚数の多い方を基に手数料を計算いたします。

※現金払戻しによる金種を指定した場合は、指定枚数に応じた手数料となります。

円貨両替機利用手数料 (両替機設置店舗)

ご希望の金種の合計枚数	料 金
1枚～200枚	(注) 300円
201枚～400枚	500円
401枚～1,000枚	800円

(注) 当組合キャッシュカードをお持ちの方は、一人1日1回50枚迄に限り無料です。

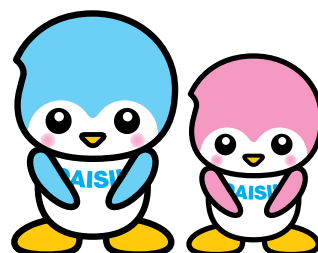
(注) 十条銀座出張所・三軒茶屋支店は硬貨の両替はできません。

個人データ開示手数料

内 容	料 金
基本料金(氏名・住所・生年月日・電話番号)	1,100円
追加1項目につき	330円
取引明細(取引履歴)	5年未満 550円
	5年以上10年以下 1,100円
	10年超 2,200円

「主債務の履行状況に関する情報のご提供」手数料

内 容	料 金
主債務者1名につき	2,200円



地元に密着した地域貢献活動

● 地域行事への参加を通して地域の活性化をお手伝い

地域貢献型教育 プロジェクト



吉祥寺支店

武蔵野市立第一小学校の「まちたんけん」に協力



常盤台支店

常盤台小学校の「町たんけん」に協力



荏原町駅前支店

馬込第三小学校の社会科見学に協力



西八支店

八王子市立第五小学校の職場訪問に協力

地域環境整備 に協力



荏窪支店

荏窪北口大通り商店街の「花プロジェクト」に参加

地域行事 への参加



青山支店

熊野神社秋季例大祭に参加



大塚支店

第13回「大塚商人祭り」に協力



本店営業部

汐留イタリア街商店会主催
「イタリア街フェスタ」に参加



堀ノ内支店

千日紅繋和会主催
「千日紅市・千日紅奉納祭り」に協力



八王子営業部

「伝承のたまてばこ
～多摩伝統文化フェスティバル2023～」に協力

一般財団法人あすなろ会

● 一般財団法人あすなろ会に対して61年間、物心両面にわたり支援

(一財)あすなろ会の活動は、英会話教室・茶道教室などの教養教室の他、新年のつどい、あすなろ祭等のイベント、さらに中小企業経営者を対象とした中小企業経営環境研究会、大信と共催の合同時局講演会等多岐にわたり行われています。大信では、このような(一財)あすなろ会の活動に対して基金・寄付金などを拠出、同会事務所の提供、職員の派遣などの支援を継続しております。これらの活動基盤は大信と大信全店舗のお取引先1,000先を超える賛助会員のご協力によって支えられております。



令和5年11月8～9日
第89回「中小企業経営環境研究会」



令和6年1月13日
第57回「祝 新年若者のつどい」

▶ 詳細は(一財)あすなろ会ホームページをご覧ください。 <https://www.asunarokai.org/>

人材の価値を高め 地域のひとつづくりをお手伝い

● 柳沢会長、大学で信用組合の役割を講義

柳沢会長は、昨年末に千葉商科大学商経学部、日本大学商学部の各授業において特別講師として招かれ、「地域社会における信用組合の役割」と題し、教鞭を執りました。

講義では、信用組合の成り立ちや銀行・信用金庫との違い、信用組合の強みと役割等について説明しました。

また、人手不足の深刻化やゼロゼロ融資の返済の本格化など、さまざまな影響を受ける中小企業・小規模事業者の実情や我々信用組合が今後対応していかなければならない環境や現状の問題点について話されました。

そして、「これからを生き抜くためには金融機関においても常に新しい発想や情報が必要であり、人的資本経営の観点からも『相互扶助』を基本理念とする信用組合の“助け合い”の精神のもと、“人の役に立ちたい”“人に感謝されたい”という真情を発揮させることで職員の意欲向上とともに組織の力も高まっていく。まさに、『人材こそが信用組合』である」と人材価値を高めることが地域のひとつづくりにも通ずると語られ、講義は締めくくられました。



大信は地域社会の一員として、活力ある地域社会の実現を目指し、社会貢献活動に積極的に取り組んでいます。

社会貢献活動

コンプライアンス態勢強化への取り組み

コンプライアンス・マニュアルの制定

法令に係わる手引書である「コンプライアンス・マニュアル」を制定し、全役職員に周知しております。

コンプライアンス・プログラムの実践

コンプライアンス実現のための実践計画である「コンプライアンス・プログラム」を毎年度策定し、本支店一体となって実践に努めております。

内部通報等窓口の設置

コンプライアンス違反を役職員が直接通報できる手段として、「ヘルプライン」「目安箱」等の窓口を設置しております。

コンプライアンス・ハンドブックの作成

コンプライアンス・マニュアルの要約版である「コンプライアンス・ハンドブック」を作成して全役職員に配付し、研修等で活用しております。



ESG投資の実施状況

- ESGとは、Environment（環境）、Social（社会）、Governance（企業統治）の頭文字をとったものですが、企業経営や成長においてこれらの観点を組み込むことによって、持続可能な社会の形成に役立つことを示した投資における判断基準の一つです。
- 大信では、平成31年2月より、主に債券投資の購入時にESGによる判断基準を優先的に適用しております。
具体的には、債券の発行体が環境改善効果をもたらすことを目的としたプロジェクトに資金を調達するためのグリーンボンド、グリーンボンドの一種であり、温室効果ガス排出削減に向けて移行戦略に資金を調達するトランジションボンド、同じくグリーンボンドの一種で、資金使途を海洋汚染の防止や持続可能な海洋資源に関連する事業等に限定したブルーボンド、社会的課題の対処に向けた事業を資金使途とするソーシャルボンド、ソーシャルボンドの一種であり、ジェンダー平等やエンパワメントを資金使途とするジェンダーボンド、環境・社会的課題の解決に資する事業のためのサステナビリティボンドの各区分となります。
- 令和5年度までのESG投資実績は、下表のとおりであります。
なお、投資先の具体的内容等については、当組合ホームページをご覧ください。

	令和5年度		令和4年度まで		累 計	
	銘柄数	額面 (百万円)	銘柄数	額面 (百万円)	銘柄数	額面 (百万円)
グリーンボンド	11	1,400	77	11,300	88	12,700
トランジションボンド	2	500	6	1,000	8	1,500
ブルーボンド	1	400	—	—	1	400
ソーシャルボンド	1	100	12	1,300	13	1,400
ジェンダーボンド	—	—	1	100	1	100
サステナビリティボンド	10	1,600	35	5,800	45	7,400
合 計	25	4,000	131	19,500	156	23,500

※償還したものを含まず。

「第59回 全国信用組合大会」開催

○ ～柳沢会長が信組業界の所信を表明、 大信が「しんくみブランド表彰」を受賞～

令和5年10月20日(金)、一般社団法人全国信用組合中央協会主催の「第59回全国信用組合大会」が経団連会館で開催されました。来賓には、井林内閣府副大臣、須藤中小企業庁長官、植田日本銀行総裁、森全国中小企業団体中央会会長をはじめ各業界を代表される方々にご臨席を賜りました。

第一部では、永年勤続等の表彰が行われたほか、信用組合の基本理念である相互扶助を具現化した活動を表彰する「しんくみブランド表彰」が発表され、大信が42年間継続して発行している「景況調査」が優秀賞を受賞しました。

第二部では、冒頭、柳沢会長より主催者挨拶の中で、信用組合業界を取り巻く課題として、「お取引先に対するサポートの強化」、「人的資本経営」、「サイバーセキュリティの強化とマネロン・テロ資金供与対策」の3点を挙げられ、それらの対応に向けて全力で取り組む所存であると話されました。続いて、関係当局への要望事項として、「新たな経済対策を踏まえた中小企業・小規模事業者への支援」、「信用組合業界にとってのデジタル化への対応」、「郵政民営化」の3点について信用組合業界を代表して意見を述べられました。

最後に、「私ども信用組合は引き続き、全国の中小企業・小規模事業者や生活者の皆さまの活動をサポートし、協同組織金融機関の意義と役割を再認識して決意を新たに一致団結し邁進していきたい」と所信を表明されました。



大信のトピックス



第5期「しんくみ経済塾」開講

令和5年度も日大商学部の長谷川教授(現学部長)を講師に迎え、若手職員に対する金融知識の向上を目的とした“金融を学ぶゼミナール”「しんくみ経済塾」を開講しました。5期目となる受講生は5信組(大東京、全東栄、七島、ゆきぐに、群馬県)22名でスタートし、原則月1回・年12クールで行われました。

本経済塾は、コロナの影響により長らく各信組本支店からのオンライン授業としてきましたが、コロナ禍を経て下半期からは対面・オンライン併用(ハイブリッド形式)による実施に至り、令和5年12月からは約3年半ぶりの集合形式にて、長谷川教授と塾生が一堂に会して授業が行われました。

集合形式の復活により、金融機関(信用組合)職員としての知識向上による自己成長はもとより、経済塾の目的である他信組の若手職員同士の交流による、横の繋がり作りや絆を深めることができました。



女性活躍推進への取り組み

大信では、従来より女性の活躍推進に向け、女性渉外の配置をはじめ、女性の採用拡大、育児休業の充実、役職への積極登用など、様々な対応を行ってきました。

その結果、10年前と比べ、女性割合は約11%増加し43%となっています。

また、令和6年3月31日現在では店舗長3名、次長同等職13名、課長同等職15名と、系列職として活躍する女性職員は増加傾向にあり、「課長同等職以上に占める割合」は、19.0%と、当組合が掲げる数値目標20%以上の達成まであと僅かとなっています。

ワーク・ライフ・バランスへの取り組み

職員一人ひとりが能力を発揮していくためには、「働きやすい職場環境」が前提となります。また、働きやすさは、仕事へのやりがいや満足度のみならず、お取引先の満足度向上にも繋がると考えています。

こうした観点から、「仕事と家庭生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)」をはじめ、「ハラスメント防止への取り組み」、「ストレスチェック」等、各施策に対し積極的に取り組んでいます。

また、改正育児・介護休業法(産後ノパ育休)の施行に伴い、男女とも育児休業を取得しやすい雇用環境の整備や周知等、仕事と家庭の両立に資する対応を図っています。

女性における育児休業取得者(育児休業予定者含む)は全女性職員の1/4を占めており、「長く勤められる」企業として、その割合は増加している一方、今後は男性職員の取得者増加に向けた対応を図ってまいります。

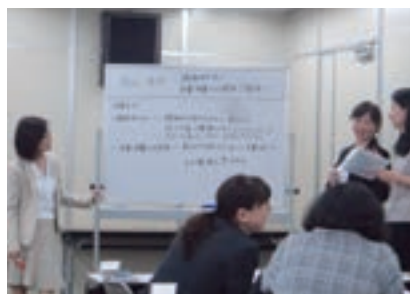


職員の能力アップへ向けた取り組み

● 職員育成に向けたプログラム

内部研修

- 新任店長席研修
- 評価者訓練・研修
- 部下育成(OJT)研修
- 年金業務研修(基礎、中級)
- 融資実務研修(基礎、中級)
- 相続対応研修
- 調査業務実施者認定研修
- 基礎能力育成基本カリキュラム(入組3年間)
- 歳入金事務基礎研修
- トレード研修
- 渉外担当・窓口担当者(ロールプレイング研修)
- 財務分析研修
- 不動産調査実務研修
- 職位別研修(車座ミーティング)
- マネロン・テロ資金供与対策研修
- サイバーセキュリティ対策研修
- 本業支援強化・マネジメントに係る研修・学習プロジェクト
- 事業承継促進事業研修



トレーニー研修

- 融資審査トレーニー
- 債権管理トレーニー

新入職員研修～信組職員としての基本を習得～

- 入組前研修(3月)
- 事務基礎研修(4月)
- 合同新入職員研修会(全信組連)
- 若手渉外担当者研修
- フォローアップ研修
- 社会人基礎育成研修
- 社会・経済の基礎知識研修



外部派遣研修

全信中協、都信協等における研修

- 管理者基礎研修会
- 女性管理者講座
- 経営改善・事業再生研修
- コンプライアンス講座



※写真は、過年度実施のものを掲載しております。

人材育成に関する取り組み

大信では、若手職員の基礎力の早期形成と長期的な視野に立った能力開発に向けて、採用から研修までの一貫した人材育成と配属後の計画的なジョブローテーションを行っています。その後もキャリアアステージに合わせた研修を通じ、職員の能力を最大限に引き出すことで、多様化・高度化するお客さまのニーズに対応できる人材の育成に努めています。



大信では、お客さまのライフステージに応じてさま



大信の定期積金

定期積金は、ご結婚やご入学など、使用目的に合わせて、毎月一定額を無理なく積み立てる計画貯蓄に最適です。

子育て

教育ローン まなび
リフォームローン

結婚

クリーンマイカーローン2
住宅ローンマイ・プラン

就職

フリーローン チョイス

アッ！お金が必要！
そんなときに大信が
お役に立ちます

職域パートナー制度

(職域提携企業の従業員に対する融資利率優遇)

お取引先の事業所で働く従業員の方々が事業所等に定着し、健康で文化的な生活を営み、生活の安定、向上など福利厚生面の充実を側面支援することを目的に、金融サービス(金利を優遇した小口消費者ローン・金融相談等)を行うものです。

金利
優遇例

フリーローン
「職域・チョイス」
年利2.6%~12.6%

フリーローン
「チョイス」
年利3.0%~13.9%

※職域提携企業の常勤役職員(嘱託ならびに臨時職員を除く)で勤続一年以上の方が対象となります。

大信では、令和5年度に「笑顔と夢」応援定期預金(寄付型)「未来II」と特別金利定期預金「プレミアム」を、お取り扱いいたしました。今年度も、お客さまの多彩なニーズにお応えできるよう、サービスや預金商品の充実に努めてまいります。



大信の
WEB応援ローンは、
WEB・スマホで
申し込むと金利が
店頭表示金利より
0.2%割引!

さまざまなサポートを行っております。

円熟時代・ セカンドライフ

いろいろお得な 大信すえひろ会

大信すえひろ会は、大切な年金を当組合
でお受け取りいただいているお客さまの
会です。お取引いただくと自動的に会員となりますので、入会
手続きは不要です(会費無料)。大信すえひろ会では、さまざま
な優待やご利用いただける情報をご用意しております。



会員特典のご紹介

お誕生日プレゼント

毎年、素敵なお誕生日プレゼントを差し上げます。
また、お取引中に古希をお迎えになられた方には特別なお祝品を差
し上げます。

大信とくとく定期預金・2

ご契約時にはスーパー定期預金(1年・2年)の店頭表示金利に0.20%
を上乗せします!

お一人さま300万円までお預け入れが可能です。

(金融情勢等により内容を変更または中止することがありますので、予めご了承ください。)

すえひろ積金“らくらく”

定期積金(2年・3年)が店頭表示年利回りの2倍とお得です。
掛込金額は1万円以上1千円単位でご契約が可能です。(年金振込
金額の範囲内)

満期金を定期預金(1年契約)に振り替えていただくと、店頭表示金
利に0.15%を上乗せします。

(金融情勢等により内容を変更または中止することがありますので、予めご了承ください。)

その他ご利用いただける情報のご紹介

ふれあい旅行

1泊2日の旅です!

ご家族、ご友人と楽しいひとときを、お過ごしください。

大信山中荘でゆっくり

山中湖畔の大信山中荘(保養所)
へどうぞ。



大信では、皆さまのさまざまなライフステージに合わせた
商品・サービスの提供に努めています。

個人向けサービスのご紹介



事業者をサポート

○ ビジネスマッチング

① 大信のお客さま×大信のお客さま

イントラネットにビジネスマッチング掲示板を開設し、「売りたい・買いたい・このような事業者を探している」等のニーズを登録し、全店で情報を共有しています。



事例

- 蕎麦店を営むお客さまより、「肉つけ蕎麦」に使用するブランド豚の仕入先を探しているとお話を伺う。
- 担当者が「ビジネスマッチング掲示板」にてブランド豚を取り扱うお客さまの情報を検索。
- お客さま同士の商談を経てマッチングが成立。
- 飲食店で提供するメニューの拡充、販路拡大の支援につながった。

② 大信のお客さま×他信組のお客さま

組合内だけでなく、一般社団法人東京都信用組合協会が運営するサイト「くみちゃんの縁結び」も活用して、他信組のお客さまとのマッチングも可能にしています。

事例

- 当組合が飲食店で提供するお酒の仕入先を探しているお客さまの情報を「くみちゃんの縁結び」に登録。
- 登録された情報を見た七島信用組合担当者よりすでに「くみちゃんの縁結び」に掲載中で、クラフトビールの製造・販売業を営むお客さまをご紹介いただく。
- お客さま同士の商談、試飲会を経てマッチングが成立。
- 飲食店で提供するメニューの拡充、販路拡大の支援につながった。



トする取り組み

● 各種セミナーの開催

大信は、地域の事業者の皆さまを対象に、著名な講師による講演を聴く機会をご提供するために、(一財)あすなろ会と毎年開催する「合同時局講演会」や中小企業基盤整備機構との連携による「中小企業事業者セミナー」、しん研青年部会・大信ひまわりの会による「合同講演会及び交流会」など、企業の課題解決や異業種交流の場を定期的に提供しています。

● しん研青年部会・大信ひまわりの会 合同講演会及び交流会 [令和5年9月20日開催]

若手経営者であるしん研青年部会・大信ひまわりの会による「合同講演会及び交流会」が開催されました。

4年ぶりとなった今回の講演会では、異色のバックグラウンドをお持ちの、日本電鍍工業株式会社 代表取締役である伊藤麻美氏を講師にお招きし、『継続し続ける企業である為には・・・』と題し、伊藤氏の幼少期から社長に就任し成功に至るまでの貴重なお話を聴くことができました。



伊藤麻美氏



講演会の様子



交流会の様子

● 第19回合同時局講演会 [令和6年5月8日開催]

大信と(一財)あすなろ会の共同開催として19回目となった今回の講演会は、講師に、経済アナリストで日本金融経済研究所代表理事の馬淵磨理子氏と、ジャーナリストの増田ユリヤ氏をお迎えしました。

馬淵氏には「経営者に必要な視点と企業の取るべき戦略」と題したご講演を、増田氏には「増田ユリヤが見た世界史の現場から」と題したご講演をいただきました。



馬淵磨理子氏



増田ユリヤ氏



講演会場



懇親会場

● 新たなビジネスパートナーとの出会いの場

新たなビジネスチャンスの創出やビジネスパートナーとの出会いの場を提供し、販路開拓・商品PR・販売促進等を目的とした「2023しんくみ食のビジネスマッチング展 一食の商談会」が、都信協・全信中協・全信組連の3団体主催によりオンラインで開催されました。当組合では13社のお客さまに出展いただき、新たなお取引先との出会い・新たな発見の場を提供しました。

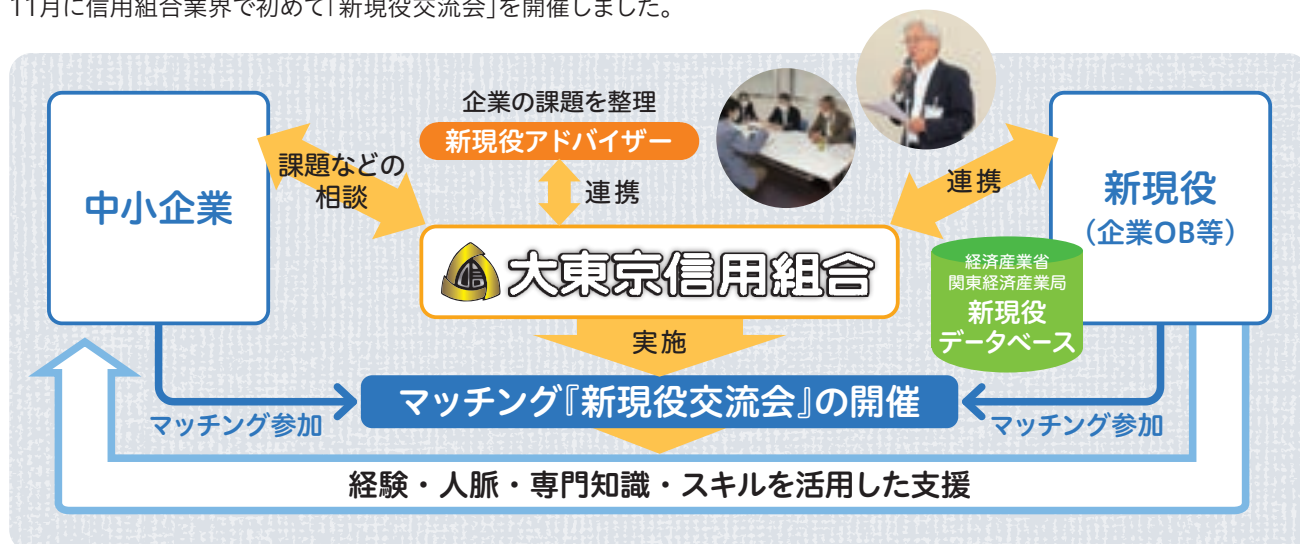


出展した商品の一例

人材のマッチングによる事業支援の取り組み

○ 新現役マッチングによる課題解決支援

新現役交流会とは、中小企業・小規模事業者と大手企業などの勤務経験で長年培ってきた人材のノウハウをマッチングすることにより、中小企業・小規模事業者の問題・課題解決の一助となることを目的とした人的交流会です。大信は、平成28年11月に信用組合業界で初めて「新現役交流会」を開催しました。



新現役交流会を通じた課題解決事例

自動車部品販売事業の売上が高止まりしていた中で、「イタリア車の部品」に特化した事業戦略に舵を切ろうとしたが、現地取引先や輸入ルートに課題があり、新現役交流会ではイタリアに縁のある方からの支援を希望。

マネジメントメンター(新現役)はイタリアの航空会社に勤めた経験があるが自動車に関する知識はほとんど無かった。しかし当時の交友関係を活かして、現地の部品事業者を全リスト化しコンタクトを取った。商談には社長と2人で現地へ赴いて交渉を支援。輸入ルートについても社長と二人三脚で新規ルートを開拓。

自社の独自輸入ルートを確認したことにより国内市場では手に入れることが出来ない部品の確保が可能となった。その結果、「同社にお願いすれば大丈夫」という信頼を獲得することができ、売上も新現役交流会参加前と比較して1.5倍ほど増加した。

「新現役交流会」実績

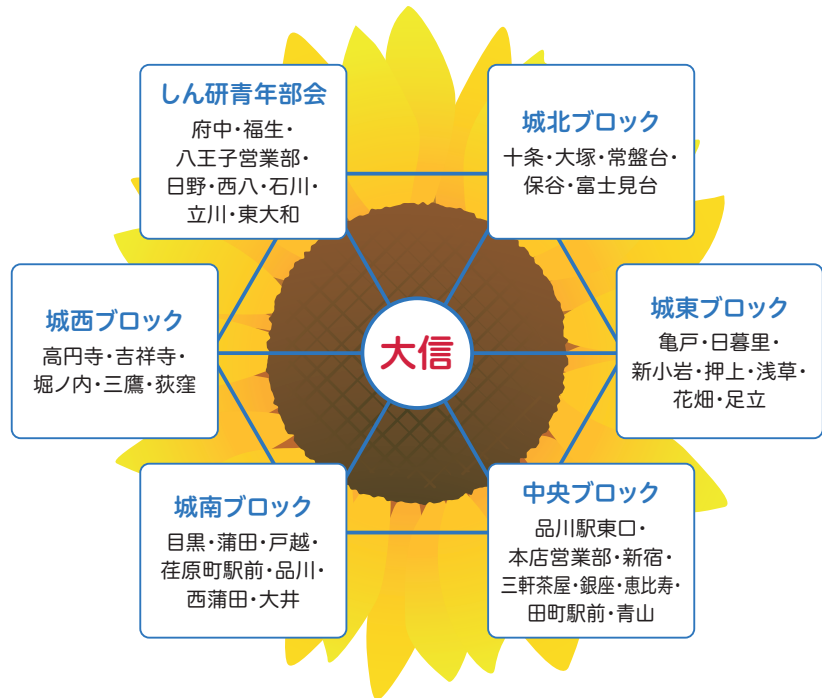
	参加企業	参加申込 新現役数	総面談件数	二次面談	マッチング支援 (公的制度活用)	民民契約
2016	25社	90名	145件	21社(84.0%)	16社(64.0%)	4社(16.0%)
2017	23社	104名	159件	23社(100.0%)	20社(86.9%)	7社(30.4%)
2018	27社	150名	196件	25社(92.6%)	18社(66.7%)	9社(33.3%)
2019	29社	112名	177件	27社(93.1%)	18社(62.1%)	4社(13.8%)
2020 2021	新型コロナウイルス感染症拡大により、開催中止					
2022	16社	66名	91件	13社(81.2%)	9社(56.3%)	4社(25.0%)
2023	23社	77名	112件	21社(91.3%)	18社(78.3%)	7社(30.4%)

若手経営者をバックアップ

企業経営に関する会員相互の情報や意見の交換、勉強会などを通じて各会員の事業の発展と地域社会に貢献することを目的とした「大信ひまわりの会」5ブロック(会員資格満55歳未満の経営者・後継者)と多摩地区の「しん研青年部会」(会員資格満50歳未満の経営者・後継者)を合わせた計6ブロックにより若手経営者の会を組織化しています。

各ブロック共に代表幹事・幹事をはじめ会員の皆さまの協力により、研修会、講演会、交流会等を開催し、会員同士の交流・親睦を図っております。

また、他ブロック会員との交流についても、「合同講演会・交流会」を開催する他、「合同ゴルフコンペ」を開催し、会員同士のマッチング等の機会を提供しています。



企業のライフステージに応じた取引先企業への取り組み状況

1. 創業・新事業支援 (令和5年度)

● 融資実績	66件	465百万円
保証協会付創業支援融資	63件	449百万円
東京都「女性・若者・シニア向け」創業融資	3件	16百万円
(うち日本政策金融公庫との協調創業支援融資)	9件	117百万円

2. 外部機関・外部専門家等への 相談等対応件数 (令和5年度)

東京信用保証協会	58件
東京都中小企業振興公社	22件
東京都「地域金融機関による事業承継促進事業」	21件
東京都よろず支援拠点	5件
地方公共団体・商工会議所等	33件
中小企業119	18件
士業(中小企業診断士・会計士・税理士等)	11件
その他	7件
● 合計	175件

3. マッチングを通じた事業支援 (令和5年度)

- 大信のお客さま×大信のお客さま
42件(累計:112件)
- 大信のお客さま×他信組のお客さま
3件(累計:5件)

4. 経営改善支援等を目的とした 融資商品取組実績累計

- 商品名:「リニューアル」・「キャピタルプラス」・「二世帯」・「オーナー」等
441件 71,643百万円
(平成15年4月～令和6年3月)

金融仲介機能のさらなる発揮に向けて

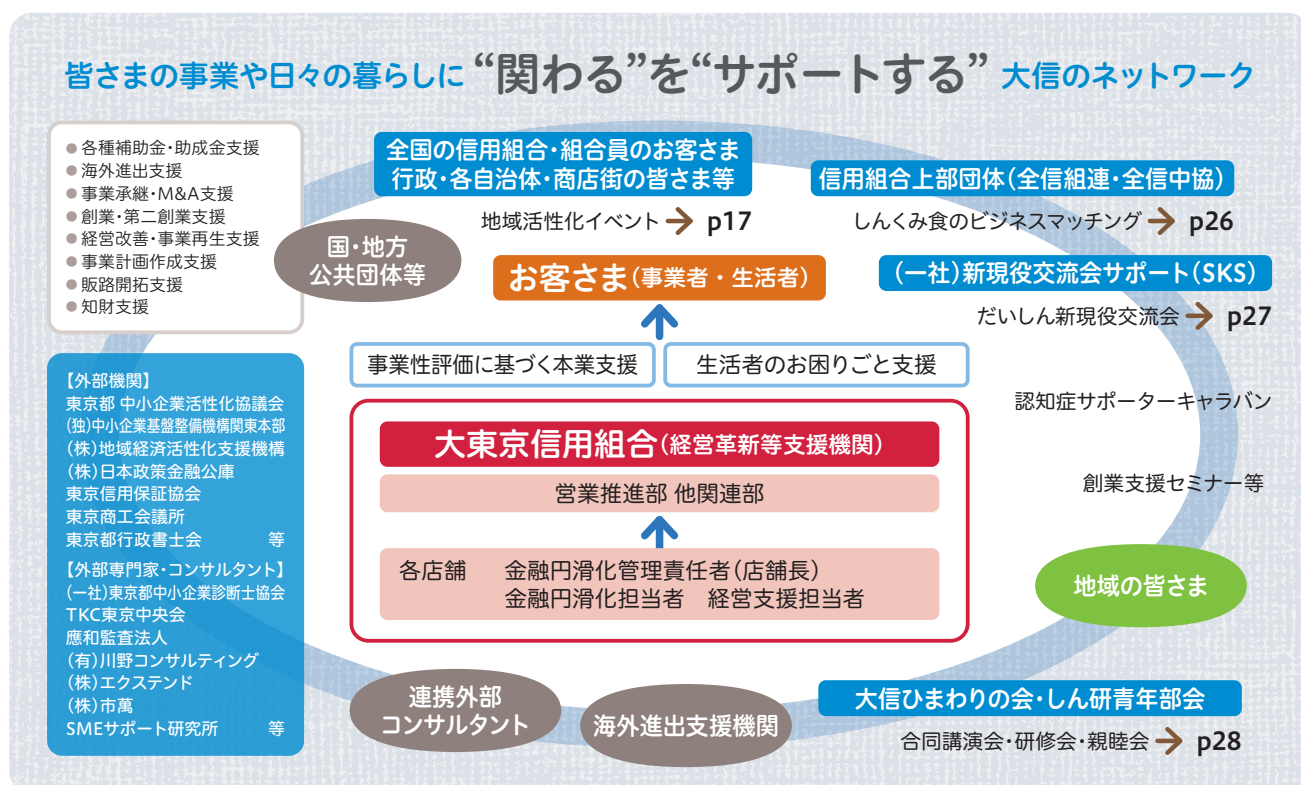
大信はお客さまとともに歩み、新たな価値を

経営課題の解決に向けた大信のネットワーク

大信は、平成24年11月に中小企業等経営強化法の「経営革新等支援機関」の第1号認定を受けました。引き続き中小企業・小規模事業者の皆さまが抱えられている経営上のさまざまな課題に対する解決に向けたご支援とご要望に合うご提案を、大信のネットワークを駆使してご提供してまいります。

また、事業計画においても、事業性理解を通じて地域のお客さまを幅広くサポートし、地域の経済・産業活動を支えることを通じて、地域活性化につながるよう取り組んでまいります。

皆さまの事業や日々の暮らしに“関わる”を“サポートする”大信のネットワーク



「経営者保証に関するガイドライン」への取り組み

当組合では、「経営者保証に関するガイドライン」及び「事業承継時に焦点を当てた経営者保証に関するガイドラインの特則」の趣旨を踏まえ、お客さまからのお借入れや保証債務整理の相談に対応する態勢を整備しています。

経営者保証の必要性については、お客さまとの対話により、法人と経営者の関係性や財務状況等を把握し、同ガイドラインの記載内容を踏まえて十分に検討するなど、適切な対応に努めています。また、どのような改善を図れば経営者保証の解除の可能性が高まるかなどを具体的に説明し、経営改善支援を行っています。

「経営者保証に関するガイドライン」の取り組み状況

	令和4年度	令和5年度
新規に無保証で融資した件数	645件	731件
新規融資に占める経営者保証に依存しない融資の割合	11.77%	17.47%
保証契約を解除した件数	20件	38件
経営者保証に関するガイドラインに基づく保証債務整理の成立件数	0件	0件

～事業性理解による共通価値の創造～

創造いたします。

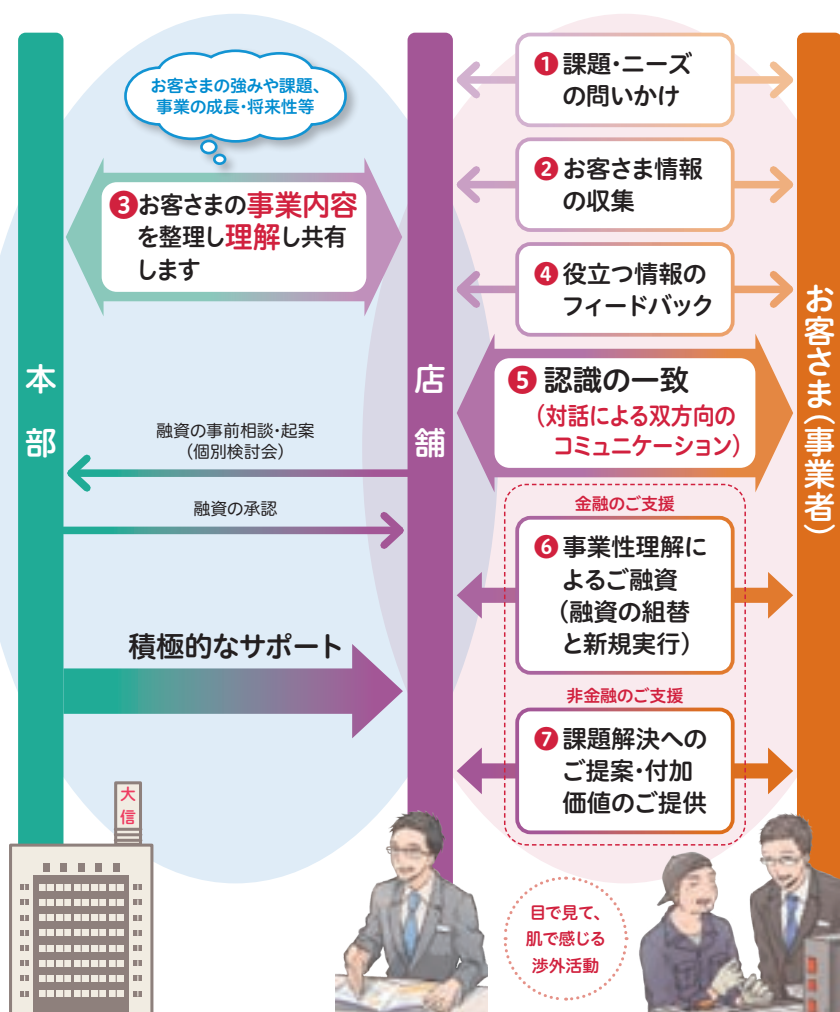
対話を通じた事業性理解への 取り組みについて

大信は、お客さま一人ひとりの事業に寄り添い、対話による双方向のコミュニケーションを通じて、お客さまが直面するさまざまな経営課題について解決策をお客さまと共に考え、店舗および本部が一体となってお支援させていただきます。

そのために、渉外担当者をはじめ職員一人ひとりが、日々の業務活動を通じてお客さまの事業をよく理解し、お客さまのライフステージに応じて事業に役立つ情報をタイムリーにご提供するほか、将来にわたり安定的な成長・繁栄につながる“新たな価値”をお客さまとともに創造してまいります。

事業性理解に向けた7つのプロセス ～Seven processes～

大信はお客さまの**事業を理解**し、最適なお提案に向けて
骨身をおしماず行動いたします



大信は、地域の発展とお客さまとの共通価値の創造・共存共栄を果たすべく、金融仲介機能を十分に発揮し、皆さまのベストパートナー・バンクを目指して歩んでまいります。

地域経済活性化の取り組み



大信の取り組みを知る編



地域経済活性化の 取り組み

P.30～25

- 対話を通じた事業性理解への取り組みについて
- 経営課題の解決に向けた大信のネットワーク
- 「経営者保証に関するガイドライン」への取り組み
- 若手経営者をバックアップ
- 企業のライフステージに応じた取引先企業への取り組み状況
- 人材のマッチングによる事業支援の取り組み
- 事業者をサポートする取り組み



個人向けサービスのご紹介

P.24～23

- 大信では、お客さまのライフステージに応じてさまざまなサポートを行っております。
- いろいろお得な大信すえひろ会



お気軽にご相談ください

「お客様相談室」を設置してお客さまからのお問い合わせやご相談などに真摯にお応えできるよう態勢整備に努めております

一般のご相談

フリーダイヤル **0120-402-003**

大信は、お取引の店舗窓口でご相談等をお受けするほか、本部でも、お客さまとのホットラインの役目を担う「お客様相談室」を設置し、お客さまの声をお聞きしております。お客さまが、安心してお取引いただけるよう、信頼関係強化に努めておりますので、お気軽にご相談ください。

受付時間

当組合営業日の9:00～17:00

INDEX 目次

人材育成に関する 取り組み

P.22～21

- 職員の能力アップへ向けた取り組み
- 第5期「しんくみ経済塾」開講
- 女性活躍推進への取り組み
- ワーク・ライフ・バランスへの取り組み



大信のトピックス

P.20～19

- 「第59回 全国信用組合大会」開催
- コンプライアンス態勢強化への取り組み
- ESG投資の実施状況



社会貢献活動

P.18～17

- 一般財団法人あすなろ会
- 人材の価値を高め地域のひとづくりをお手伝い
- 地元に着した地域貢献活動



- 用紙 : 責任ある木質資源や再生資源を使用したFSC®認証用紙
- インキ : 環境配慮型インキ(植物油インキ)
- 印刷 : 有害な廃液を排出しない水なし印刷
- 製造、廃棄に発生するCO₂をカーボンオフセット済
- CO₂排出量 : 603g-CO₂/COPY



大信Report 2024

2023年4月1日から2024年3月31日まで

大信の取り組みを知る編



地域の発展 お客さまの繁栄のために

編集／大東京信用組合 総務部

東京都港区東新橋2-6-10 電話03(3436)0124

令和6年7月発行

URL <https://www.daisin.co.jp/>